

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
浦添市児童発達支援センターたんぼぼ 保育所等訪問支援		2026年 3月 24日				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点	
環境・ 体制・ 運営・ 整備	1 訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	1			見通しを持たせる支援として、支援児童に合ったカードや写真等を作成し、実際に使用する。訪問先の先生に見てもらいながら効果を感じてもらい、訪問先園で取り入れる提案を行う。	
	2 利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。		1		2名以上の体制であれば対応できると思うときがある。	
業務 改善	3 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	1				
	4 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	1			前年度の評価表の意見を参考に、改善に努めている。	
	5 従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	1				
	6 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1				
	7 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	1			相談支援業務に特化した研修がもう少しあってほしい。	
適切 な 支 援 の 提 供	8 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	1				
	9 保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	1				
	10 保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	1			支援開始する前に、事前に訪問し児童の様子聞き取り課題、先生方の意向の聞き取りを行い、個別計画書に記載している。	
	11 保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	1			相談支援事業所とのモニタリング会議等で共有し、円滑に支援ができるようにしている。	
	12 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	1			アセスメントや、日々の報告書を確認しながら次の支援へ繋げている。	
	13 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	1				
	14 保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	1				
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	1			支援開始前、前回の支援内容の確認し共有事項を確認した上で、支援を行っている。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	1			支援員が1名なので、普段、振り返りは行っていないが、たんぼぼ（児童発達支援）と併用している児童の情報共有は行っている。	
	17 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	1			訪問先の園の方針に合わせて、支援を行っている。	
18 毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	1			毎回、報告書作成と保護者への報告を行っている。		
19 定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	1			相談支援事業所が開催のモニタリング会議はもちろん利用者の成長や課題に応じてその都度確認を行っている。		

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	1			
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	1		契約の際に、支援が円滑にできるように連携・会議・共有を行うことの同意を得て、同意書にサインをいただいている。	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	1		移行支援として、保護者の同意を得て個別計画書のコピーを配布している。また、保護者の希望があれば会議にも参加。	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	1		法人内、ピアラル内の研修に参加。	
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	1			
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	1		支援内容は、その都度LINEで報告し、大事な要件はたんぽぽ登園時に直接話すようにしている。	
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1		センターと連携しながら、情報共有を行っている。	
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	1			
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	1		事前に丁寧に説明をしているが、まだ訪問支援に対して後ろ向きな面もあるため、もう少し丁寧な説明が必要な面もある。	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	1		保護者の意向を確認しながら子どもの気持ちややりたい事をすり合わせて計画を立てる。また、園の様子は担任や支援担当の先生から聞き取りを行い、計画に入れる。	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	1		保護者の同意を得て、園と共有。コピーを配布。同じ方向性で支援できるように確認し合いながら実施している。	
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	1		相談しやすい環境をつくり、保護者が言いやすいようようにLINEや会議等で保護者の話を聞き、助言を行っている。面談希望の保護者には、時間調整し対応している。	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1			
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	1			
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		1		活用できていないため、今後検討していく。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	1			
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	1			支援中は、絵カードや写真を使ったり指差しで気持ちを伝えられるように、教材準備して持っている。支援が必要な保護者に対しては、メモを渡したりと工夫している。
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	1			支援開始する前に、事前訪問を行い、支援方法の注意点、打ち合わせを細かく行っている。
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	1			その都度振り返りを行い、助言・提案・相談を受けている。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	1			就労している保護者が多いため、LINEで報告を行っている。内容によっては電話や直接対面で行うこともある。
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	1			

	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	1			
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	1			
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	1			
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	1			
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	1			虐待防止に関する研修会へは参加している。適切な対応を学んでいく。委員会にも参加し、対応方法などの助言をいただいている。
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。		1		現在、該当する児童がいない。